



常澄中学校だより

「常に澄む」

令和6年1月9日

No.12

「常に正しかれ」「常に豊かなれ」「常に気高かれ」

2024年がスタート!!

新年、明けましておめでとうございます。2024年がスタートしました。

冬休み中は、大きな事故の報告もなく、元気な生徒の姿を見て、ホッとしました。しかし、1月1日午後4時10分ごろ「令和6年能登半島地震」が発生し、多くの方が命を失い、また、安否不明者も日を追うごとに多くなっており、被害の全貌すら分からない状況にあります。始業式の校長の話では、命を失われた方に哀悼の意を表するとともに、安否不明の方々の一人でも多くの生存を祈りました。そして、家族とともに生活できること、学校に通えることなど、日頃から当たり前だと思えることは、実は大変幸せなことなのだという話をしました。

3学期は、1年のまとめの学期であるとともに、令和6年度を今年度よりさらに良い年度にするためのつなぎの学期でもあります。始業式に各学年を代表して発表してくれた、3名の「3学期の抱負（目標）」を以下に紹介させていただきます。みなさん、学習、部活動、生活等について素晴らしい目標をたてることができました。代表以外の生徒も、「より良い年にしよう」と決意を新たにしているところです。その目標実現のためにこの3か月間、「当たり前のことができること」に感謝しつつ、目の前にあるやらなければならないこと、やった方がいいと思うことに、精一杯取り組んでいって欲しいと思います。職員も全力で支えていきます。

☆ S. K さん（1年1組）

私は、三学期に頑張りたいことが三つあります。

一つ目は、勉強です。三学期には学年末テストがあり、それぞれの教科で一、二学期の学習内容の復習が必要になると思います。その中でも私は、特に数学の勉強を頑張りたいと思います。私は小学生のころから数学が苦手だったのですが、中学校では授業をしっかりと聞いていなかったことなどが重なり、さらに数学が苦手教科になってしまいました。授業を受けていても内容が分からず、だんだんと苦手意識が強くなり、勉強が億劫になっていきました。学年末テストに向けての勉強では、苦手な単元でもあきらめず、根気強く何度も何度も復習し、少しでも苦手分野を潰しておきたいです。

二つ目は、部活です。部活では、普通の学校生活ではあまり強く感じられない「先輩としての自覚」を感じられると思っています。もう三か月もすれば、私たち一年生も二年生になります。先輩になるからには、格好悪い姿は見せられません。なので、私は普段から自分の部活に所属しているすべての人が部活を「楽しい」と思えるようにしたいです。そのために周りの人へ目を配り、自分も自分以外の人も楽しくなるような温かい部活を作り上げていきたいです。

三つめは、生活習慣です。二学期に入ってから、寝る時間が遅くなってしまいうことが増えてしまいました。やらなくてはならないことが多くなったのもそうですが、学校生活に慣れてから「多少遅くてもいいか」と思うようになってしまいうことが増えました。三学期は、早寝早起きを心がけながら、勉強も部活も無理をしすぎず、しっかりと努力したいと思います。

あと三か月もしないうちに先輩になるという意識をもちながら、残りの三か月弱を有意義に過ごしたいと思います。

☆ E. I さん (2年1組)

私が三学期に頑張りたいことは二つあります。一つ目は、学習面についてです。二学期の期末テストと一学期の期末テストを比べると、技能教科は点数が全体的に上がったものの、五教科では点数が上がったものもあれば下がってしまったものも多くあり自分的に満足できない結果になってしまいました。ですから、日々の授業を大切にして勉強していきたいです。また、家でもワークを進め、自分の分からないところをそのままにせず勉強したりして分かるようにしていきたいです。三年生になると受験に向けての勉強時間が増えていくので、二年生のうちから少しずつ勉強時間を増やしていきたいです。

二つ目は部活動についてです。私は女子テニス部に所属しています。市内新人戦ではあと一步のところまで負けてしまい悔しい思いをしました。ですから、平日の部活動、休日の部活動の時間を大切にして集中して練習したいです。また、その時間以外でも自主的に友達と練習していきたいです。このことを通して、総体のよい結果につながるよう努めていきます。

三学期は二学期よりも、一日一日の時間を大事にして成長できるような三学期にしたいです。

☆ I. S さん (3年1組)

年が改まり、三年生にとっては高校受験を控えた大事な三学期を迎えました。そこで私はこれまでの中学校生活を振り返るとともに、今年をより良くするために私がすべきこと、していきたいことを考えてみました。

まず考えたのは、今から高校受験に向けてすべきことと、高校受験に対する向き合い方についてです。私は、高校受験をちょっと大事な通過点というようにとらえています。なぜなら、高校受験のためだけの勉強をしていては、たとえ受験に合格してもそこで燃え尽きてしまい、後に続かないと考えているからです。受験まで自分にできることはしたか、という過程を大事にしたいと思っています。そのためにも、自分なりに無理はせず続けていける勉強を意識して、高校にも繋げていこうと思います。

次に考えたのは、高校に入学してから私は何をしていきたいか、どんな自分になりたいかです。高校、特に県立高校に入学するという事は、同じレベル、またはそれ以上の人たちが集まるということです。その中で、私は影響力のある人になりたいと思いました。中学校では周りの人たちの行動を参考にし、真似をするようにして自分がしたいと思ったことをしてきました。またそれと同時に、自分から積極的に行動できる人たちの姿に憧れていました。高校では、この経験や憧れを糧に、多くの人の手本となれるような自ら率先した行動を心がけようと思います。

今年は早くもあと数か月もすれば人生が大きく変わる、私にとってとても大事な一年となります。「悔いのない結果を」と言ったとしても、後悔はつきものです。だから私は「今に満足を」と言います。過去の自分をもとに、今の自分はやれるだけのことをして満足感を得られるようにする。その中で焦らず、少しずつ未来の自分を思い描いていくことで、よりよい自分にしていこうと思います。

※原文のまま掲載いたします。